



みなさんの声を県政へ  
来春県議選和歌山市で2人を

現在、知事は「和歌山マリーナシテイ」にカジノを含むIRを誘致しようとしています。

6月定例会一般質問では「カジノ誘致に頼らない街づくり」や「太陽光条例の運用」「ハラスメント」「地域医療構想」について質しました。

県民が安心して暮らせるようにするためにも大事な問題です。今期も福祉環境委員会に所属することができました。

団体やみなさんといっしょに求めてきた子どもの貧困対策を進めるうえでの実態調査がいよいよ始

まりますが、上がり続ける介護保険料の問題、介護職員の人手不足、ギャンブル依存症の対策、補聴器の助成について、県における旧優生保護法の問題など山ほど質さなければいけない問題があります。

いよいよ来年のいっせい地方選挙まで10か月となりました。和歌山選挙区では松坂市会議員と私が2議席確保に向けて挑戦します。

ぜひ、みなさんの声を県政に届けさせてください。

【写真】6月県議会 福祉環境委員会での質問する奥村です

疑問がいっぱい

今回は、姫田議員の一般質問の一部を紹介します。

昨年、市はつづじヶ丘テニスコートと和歌の浦アートキューブを調査対象として、国の補助金10割を活用し、2000万円かけて、コンセツション手法調査でおこないました。コンセツション手法（公共施設運営権制度）とは、運営管理だけでなく施設の設置や改修も一体に民間に委託すれば安上がりとの考え方です。

調査結果は、テニスコートの駐車場不足については、未利用地の商業施設用地を公園にし、駐車場を増設、テニスコートと一体管理すること、アートキューブは1階部分をテナント化し、民間事業者を呼び込むことで賑わい創出につなげるとしています。

つづじヶ丘の駐車場増設は市が行うべきだと思いが、増設した駐車場をテニスコートと一体管理に広げる必要はありません。また、テニスコートの利活用は「全国的

文教施設へのコンセツション導入調査について



いわくつきの和歌の浦  
アートキューブ

に事業展開を図り知見のあるミズノ」を指定管理者とし、委託料に加え料金収入も支払っているのですから、その能力を十分発揮してもらうことが必要です。商業施設進出については、スーパーマーケット数社も飲食業者も環境や居住人口、テニスコート使用人数からも進出できないと回答。分譲地計画そのものに疑問が湧く調査結果です。

アートキューブは、旅田市長時代に、昭和初期に建てられ住民や観光客に親しまれた木造三階建ての旅館「不老館」の保存を理由に観光の拠点として使用するとして買収したものの、その形状には元の風情もなく、文化芸術に限定と目的も変わった、いわくつきの建物です。それを再び観光の拠点とすることの問題点を指摘しました。

アベ流の浅薄な思い込みに警告！  
日本を不幸にするカジノは絶対反対

6月24日付日刊「赤旗」主張でカジノ法案を掲載、抜粋し紹介します。

アベ首相は2014年にシンガポールのIR（カジノ）を中核にした統合型リゾートを視察し、「日本の経済成長の目玉になる」と発言。シンガポールを手に本にIRを作れば「世界中から観光客がきていただける」という浅薄（せんぱく）な思い込みです。シンガポールでカジノ施設開業は2010年、前年の09年の海外観光客数は968万人で16年には1640万人と169%に増えています。日本は同じ09年の678万人が16年に2403万人と354%に伸びています。17年には2896万人と史上最高を更新です。カジノのない日本がシンガポールよりはるかに上回る伸び率です。観光庁によると日本の魅力は日本食、ショッピング、温泉入浴、

四季の体感などです。豊かな自然や文化が源泉であり、地域の観光資源、魅力に磨きをかけることで多くの外国人観光客を受け入れ、地域の活性化に結びつけ成功させている事例は日本中で生まれています。

日本進出を狙う海外のカジノ資本は、日本のカジノ客の89割は日本人だと試算し、標的は日本人です。カジノは、ギャンブル依存症の拡大、多重債務問題の再燃、組織暴力の拡大、治安悪化、子供たちへの悪影響など計り知れない災いと不幸を広げる危険性があります。

参院で廃案に追い込む国民的なたたかいを広げぬき廃案にしましょう。和歌山市長選でも争点の一つであり、「カジノはいらない」と、主張する島くみこさんへの支持を大いに広げましょう。（編集室）

党市議会議員  
南畑さち代

